

スクールガード会議の報告

ボランティアで子どもたちの登下校を見守ってくださるスクールガードの方々と7月10日に情報交換会を行いました。日頃の活動報告、現在起きている問題、今後私たち保護者が地域の安全のためにできる事などについて意見交換をいたしました。子どもたちが安心して生活できるよう、学校・地域・保護者で一丸となって子どもたちを見守りましょう。

スクールガード・町会の方々から

- 片手に水筒、片手に荷物と両手にもって登下校する子どもは危ないため、両手が空くような状態で登下校できるとよい。
- 今年度の交通事故は、6月末で10件を超えているが、この半分以上が自転車からみの事故。
※右折の際、二段階右折しなければならないが、二段階右折しないで曲がってぶつかった事故が2件。
- 道を横切る時は後ろを見て、車が来ていないか確認してから横切るように。
- 成田街道からプール坂へ行く道は、朝、車が通ってはいけないう時間帯があるが違反者が多い。
- 信号が青になっても車が止まるとは限らない。左右確認、手を上げて渡らないと危ない。
- 昨年1年間で64件の不審者情報の報告があり。
- 登下校の時間に、庭で水やりしたり、買い物、散歩をしたりしてもらえよう促している。
- 習い事の帰りが遅いと17時半ころに習い事を終えて公園を通るが、親がいるでもなく、子どもが遊んでいる。冬になると暗くなるため注意が必要。
- 不審者情報は昨年から特徴的で、スマホで写真を撮られた、カメラを向けられたなど。SNSに上げられる可能性もあるため、まずは通報を。
- 距離・後ろに気を付ける・一人で遊ばない・家の人に言って出かけること。
- 不審者は、隠れやすく逃げやすい場所(一番多いのは路上)を選んで出るのを気を付ける。
- いやだな、怖いと思ったら20メートル逃げると追いかけるのを諦めるとのこと。
- 防犯ブザーは、訓練が必要。電池確認のため、1年に1回は鳴らしてみる。
- 6月はカラスの雛が巣立つ時期のため、カラスは警戒しており、上空にいると怖くて通れない。
※カラスは大きい眼の玉や、光るものが苦手。
※カラスが上空にいる場合は、両手を上げて通るとカラスの翼が両手に当たるため、頭を狙って来ないように。

私たち保護者ができること

- 防犯ブザーを鳴らすと不審者は逃げていく。登下校時以外でも公園に遊びに行く時・習い事の時などプライベートでも、ブザーを付けて外出する習慣をつけるとよい。
- 自転車に乗る際のヘルメットの着用率が低い。ヘルメット着用状況の致死率は、着用している場合と比較して着用していない場合の致死率は2倍以上であるため、ヘルメット着用をする。
- 反射板のキーホルダーも車から早く目につくため効果的。
- 千葉県警でも子どもの事故・安全対策のYouTube動画を用意しているので、活用できるとよい。

千葉県警察公式チャンネル

